

2019年3月5日

年齢に合わせた自立の芽を！

以前秋田県に心理士として勤務し、現在は常磐大学人間科学部心理学科教授として活躍している「秋山邦久先生」の言葉を紹介します。

子どもの発達には年齢に応じたいくつかの発達課題があります。大切なのはこの発達課題をクリアしながら一つの目標に向かって進むことです。目標とは、将来子どもが自立できるようにすること。個々の能力には個人差があります。その子どもにあったできる範囲のことをすればいいのです。

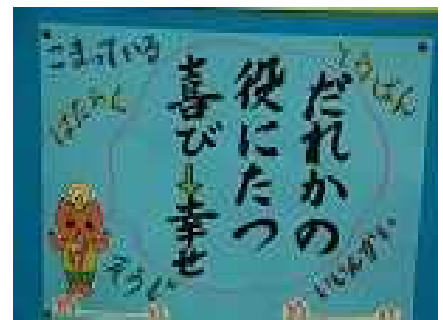
そのためのトレーニングとなるのが

「小さい頃からのお手伝い」です。

このお手伝いは、家族にとって毎日必要なことでなくてはいけません。(自分のためだけではないのです、自分の自分の机の上を片付けるなど・・・)

役割ができるということは居場所ができることです。自分の存在が認められる場所を確保した子どもは、もし外でいやなことがあっても、家庭に戻れば自分を必要としている家族がいるという自信を持ち、困難を乗り越えることができます。(本文からの抜粋)

どうでしょうか。ぜひ、その年にふさわしい内容の仕事を与えて、やらせてください。自立させるために親のひとてまで。学校での掃除をみていると、この「お手伝い」を普段やっているかどうかすぐにわかります。先週の集会では、人の役にたつ喜びの話をしました。



新しく来た先生です

5年生の阿部先生が病気でお休みしたことに伴い、新しい先生が来てくれました。藤井先生です。横手市にお住まいで、千葉県で8年間教諭として勤め、地元に戻ってきました。年度末のあわただしいところですが、5年生だけでなくそのほかの学年にも授業にいきますのでよろしくお願いいたします。



体育館前開通



体育館前通路ですが、やっと開通します。子どもたちが歩いてくるグラウンド特設の通路も雪解けでドロドロ状態になりました。そこで、体育館前の雪山をとばして通路を確保します。その雪が、グラウンドへととばすしかないようで、それも若干困ることではありますが・・・。

みわっこの活躍 ～がんばりました～

羽後町小学生低学年スキー大会(五輪坂スキー場)

1年男子 5位 大野

3年男子 5位 橘

3年女子 2位 加藤

2年男子 2位 佐々木

3年男子 6位 佐藤